第３回 藻岩・南沢地区 学校配置検討委員会

日　時　　令和５年(2023 年) 8 月 30 日(水)18 時 00 分～
場　所　　もいわ地区センター　２階集会室Ａ・Ｂ

次　　第

1　開会

2　事務局挨拶

3　報告

(1) 第２回検討委員会の振り返り・・・・・・・・・・・資料１
(2) 地域や保護者から寄せられた意見・・・・・・・・・資料２

4　協議事項

・通学距離２km を超える児童の通学方法について・・・資料３

5　次回の学校配置検討委員会の開催日程について

6　閉会

配付資料

▶次第
▶座席表
▶委員名簿
▶資料１　藻岩・南沢地区検討委員会ニュース第２号
▶資料２　地域や保護者から寄せられた意見
▶資料３　通学距離２ｋｍを超える児童の通学方法[スクールバスの運行]

資料２　地域や保護者等から寄せられた意見

日時・方法等	内容	分類
05.07.22 不明 メール	藻岩南小校区に住む４才（年中）と２才の子の親です。 藻岩南沢地区　学校配置検討委員会ニュースをみてメールを送ります。 私自身、中学の３年間を１７条から南が丘まで通いましたが、あの距離を小学生から通わせるなんて考えられません。 路線バスを利用したところで、ほぼ意味のない乗り換え、八垂別の坂は登らないと行けない。あの坂で蜂に襲われたこともあります。 あなた達は、夏の暑い中、吹雪の中、重い鞄を背負って歩いていけますか。 「石山緑小に通う選択肢」ともありますが、あの橋を子供だけで渡らせるのでしょうか。危険すぎます。 「危ないから橋を覗かないで」の指示が通る子供ばかりじゃありません。 現在小中に通っている子の親、年配の地域の方で話し合うだけではなく、統廃合後に学校に通うことになる親たちを交えて話し合いをしないのはなぜでしょうか。 川沿 18 条辺りに家を購入した人の中には小学校が近いからという理由の人達も少なくないと思います。 また統廃合によってこの辺に住む子どもたちも減っていくことになると思います。 今の時代、児童数が少ないことのデメリットよりメリットのほうが多いようにも感じます。 児童数が少ないことにより、人との関わりや社会性が身につかないというのなら授業などの一環として他校との関わりを持てばいいのではと思います。 子供が減る中、統廃合の話がでることもわかりますが、統廃合後に通うことになる子を我が子に置き換えて考え、話し合いをして頂ければと思います。 よろしくお願いいたします。	通学
05.07.22 不明 メール	学校配置検討委員会ニュースを見て、藻岩南小学校に通わせるつもりで家を購入した、４歳児と２歳児を持つ親からの意見です。 既存のバスの乗り換えの利点が無いに等しいとしか思えません。 低学年の子供がバスに乗る行為自体に不安材料しかないのに、公共のバスに乗せて乗り換えまでするのは一年生の子どもたちには無理だと思います。 ちなみにバスに乗せて 12 条４丁目で降りたとしてそこから道路横断して坂上って学校までの距離も長いと思います。 まだ小さい低学年の子供の場合重たい教材背負って登校するのは厳しいという声のほうが多いと思います。 冬季間は雪が降ればもっと過酷になるの明らかだと思います。 雪が無いときは熊にも注意しなければならないし、通勤路に使用している速度の早い車も危ないと思います。 学校を統合するとメリットもデメリットも色々あると思いますが、まず自分の子供の安全を思う親が多いのに、通学の時点で不安になる要素が多いのに統合するというのはおかしいのではないでしょうか？ 最後にお願いがあります。 これから通わせようとしてる人達も話し合いや討論に参加できるような場を設けていただきたいです。 委員会の方も生の意見を聞いたほうがいいとおもいます。	通学

05.7.27 年代不明女性 電話	中ノ沢地区から藻岩中学校に通学している児童生徒のことも一緒に含めて検討してほしい。子どもたちは、毎日遠い距離を大変な思いをして歩いている。どちらかというと、藻岩中学校よりも南が丘中学校のほうが近いだろう。それが難しい場合でも、ニュースに書いているように、スクールバスの運行を検討してもらいたい。	隣接校
05.07.31 年代不明男性 メール	ご苦労様です。 学校配置検討委員会について気になって入る事が有ったのでメールしました。 昨年秋ごろ川沿、南沢地区での小中学校の統廃合がマスコミから流れてきて将来の少子化を考えるとやむを得ない事と思っておりました。 しかし、検討委員会に連合町内会、あるいは単位町内会が名を連ねるのには違和感を感じます。 統廃合については市、学校、現役の保護者(将来保護者になる方含め)で十分に話しあえば良いのではと思います。 この４月から支えあう町内会条例が施行され市の取り組む意気込みは感じますが、いまいち就いていけないなとも思っております。	検討委員会の運営
05.08.08 70 代女性 電話	内容をみるとスクールバス、通学助成などを検討しているようだが、この件については自分は反対。 自分の子どものころは３キロ以上歩いて通学していた。荷物が重くなったとかいうが、昔でも習字道具や絵の具を手に持ってランドセルを背負って通ったものである。今の子どもは昔に比べて足腰が弱っているのか。 ただし、確かにあのお墓のところの坂は上り下りが大変。バスでと言うのも仕方がないかと思うが、それであれば、川沿で乗り換えして南沢４－２のバス停から歩くのがよい。 乗り換えの交差点はそこまで危険とは思えない。地域の人などが誰かついて交差点の見守りをしてくれれば安全は確保できると思う。低学年の子どもは慣れるまで親が付いていって覚えさせればいい。自分も子どもが小学校に入学した時にそうした。乗り換えも社会勉強である。大人とちゃんと挨拶をしたりして社会を学ぶのが良い。スクールバスだと周りは子供ばかりで勉強にならない。 南沢４－２から小学校、中学校までは、平坦で、距離も大したことはない。街灯がちゃんとあれば十分安全と考える。 通学に使う硬石山方面からのバスについては、通学時間帯は増便してもらうなどしたらよいのではないか。今は 20 分間隔程度で１本乗り遅れると遅刻になってしまうかもしれない。 スクールバスも、通学助成も私たちの払った税金を使うのであれば、使い道として賛成できない。それよりも年金を上げてほしい。子育て支援ばかりではなく敬老面に税金を使って欲しい。	通学

05.8.22 男性 メール	今回の統廃合は基本的に教育者として教育を考えることも大切だが、その前に子供の安全を考えるほうが大切だと思う。 結果、八垂別の坂を低学年が通学するという危険な状況になるのであれば、八垂別の車両通行止めを要求する。それができないのであれば到底受け入れられない。 今回の検討内容は、小規模化によるデメリットとして考えられているようだが、クラス替えの困難や人間関係、社会性やコミュニケーション能力を伸ばす問題など、それに対する確かなデータがあるのか疑問です。その反対に一人一人の学習を把握しやすいし、個性を伸ばすなどのメリットの方が大変分かりやすく現実的です。 それなのに危険を押してまで統廃合するだけの理由とその責任を教育委員会として持てるのか!! しかし、どうしても統廃合が必要というのであればまだまだ検討する方法はある。 例えば ① 路線便を増やすのではなく、将来の藻岩南小学校跡地からバス会社による直行スクールバスを運行する。(もちろん将来の南が丘中学校まで)費用は補助金で賄う。 ② 南の沢小学校と石山緑小学校の一部のエリアから藻岩南小学校に来てもらい三校のバランスをとりそれぞれを存続させる。 ③ 藻岩南小学校の中に幼稚園を入れ幼小一体化することで人数と幼稚園の存続の問題を両方解決する。 ④ 少ない人数が問題であれば、学校の行事は合同開催することで各校の負担を減らし、他校との交流を深める。 どちらにしても今あるものを上手に利用し、子供たちが安全に通える学校を大人達が考える責任がある。 学校運営も大変だとは想像できるが、合理化や効率化だけで失ってはいけないものがあると思う。	通学

通学距離２㎞を超える児童の通学方法【スクールバスの運行】

令和５年８月30日
藻岩・南沢地区　第３回学校配置検討委員会

1 乗車想定児童数（住所別）令和５年度実績

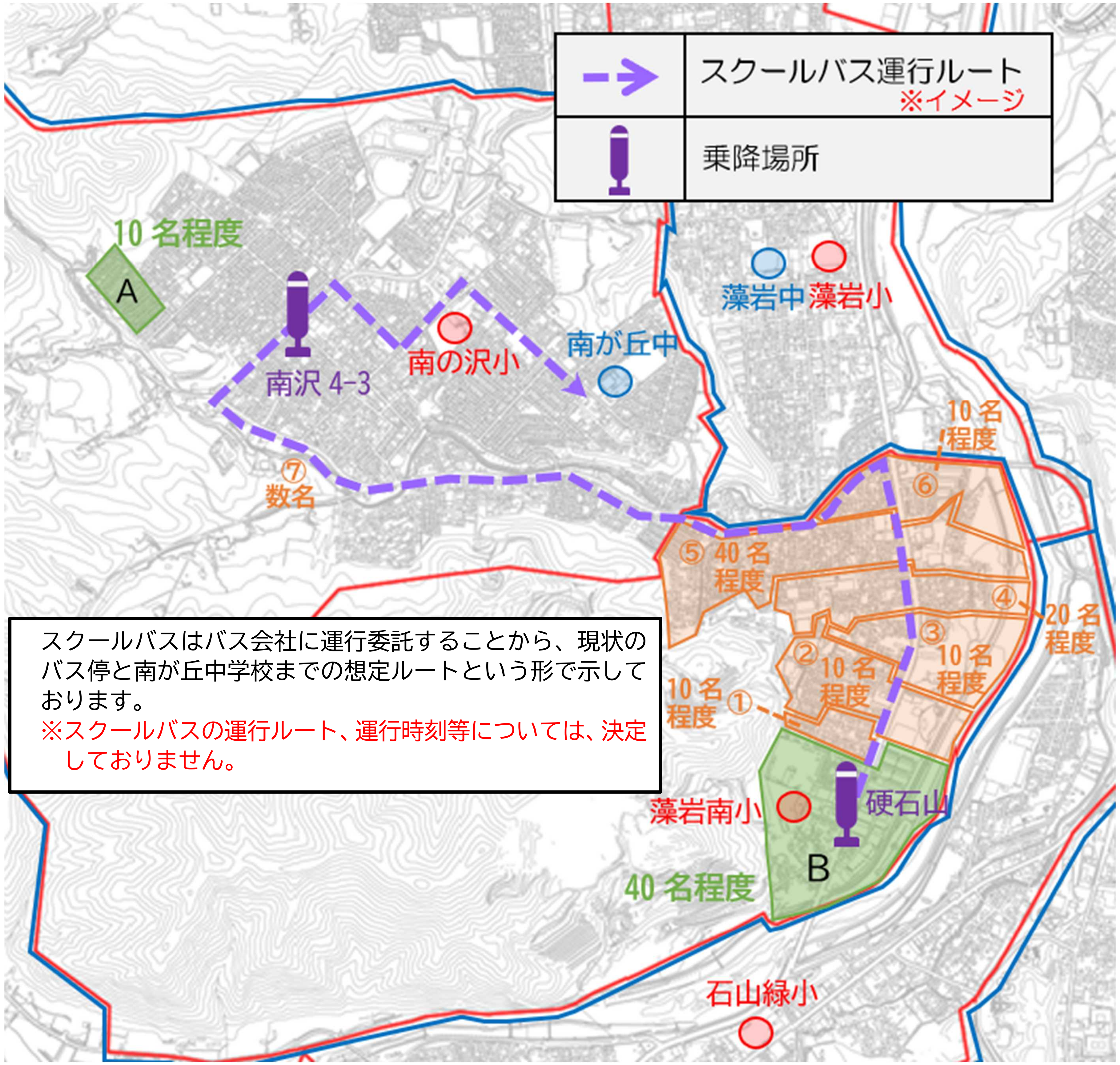
	住所	エリア内 通学距離（目安）	児童数	うち小1～2
2㎞越え（A・B）	川沿18条1～2丁目		10名程度	数名
	川沿17条1～2丁目		20名程度	10名程度
	川沿16条1丁目		10名程度	数名
	南沢6条4丁目		10名程度	数名
	小計		60名程度	20名程度
2㎞未満	①川沿16条2丁目	1,640～1,850m	10名程度	数名
	②川沿15条1～2丁目	1,280～1,690m	10名程度	数名
	③川沿14条1～2丁目	1,340～1,680m	10名程度	数名
	④川沿13条1～3丁目	910～1,700m	20名程度	10名程度
	⑤川沿12条1～5丁目	580～1,660m	40名程度	10名程度
	⑥川沿11条1～2丁目	940～1,500m	10名程度	10名程度
	⑦南沢（番地）	（個別）	数名	数名
	小計		100名程度	30名程度

2 運行ルート・運行時刻

・通学距離２ｋｍを超え、最寄り駅やバス停からの距離等を考慮し、公共交通機関による通学が困難と教育委員会が認める地域においては、スクールバス等を運行することを検討しております。

・スクールバスの運行ルート、運行時刻については、利用人数や日課に応じて開校時までに決定します。

小学校の登下校時間（参考）
登校→8：10～8：20
下校→14：20（5時間）
　　　15：10（6時間）



スクールバスはバス会社に運行委託することから、現状のバス停と南が丘中学校までの想定ルートという形で示しております。
※スクールバスの運行ルート、運行時刻等については、決定しておりません。

※個人の特定に繋がる可能性がある数値等一部箇所について、当日資料から加工しております。